

事業事業評価

平成 31 年度

		担当課		政策企画課					
基本事項	事業事業名	島原ふるさと創生小西紀行プロジェクト				整理番号	0102		
	根拠法令等	島原市ふるさと創生島原守護神キャラクター「しまばらん」及びロゴマーク使用取扱要綱		実施を義務付ける規定		○あり ●なし			
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第 6 章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	予算科目	2 款 1 項 7 目	●継続 ○新規				
		節	事業区分	その他					
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	「日本創生会議」が指摘した消滅可能性都市は全国で896自治体であり、島原市もその中の一つである。 人口減少に歯止めをかけるため、総合的な対策が必要であるが、市民をはじめ市が一体となって地方創生に向けた機運の醸成が必要となる。				計画期間	始期 平成 27 年度から 終期 平成 年度まで		
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原市出身の漫画家小西紀行先生の協力を得て作成した、島原ふるさと創生キャラクター島原守護神「しまばらん」を活用し、島原ふるさと創生に向けた市全体の機運の醸成と地域の活性化を図る。							
	目的達成のための 具体的手段・方法	・キャラクター・ロゴマークの使用料を無償とすることで、キャラクターのグッズ作成や、チラシ等広報での利用を促進し、民間での活用を図る。 ・しまばらんの着ぐるみ貸し出しを行い、市内外問わず多くのイベントでのPRを行う。							
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	29 年度	30 年度	31 年度		
		①キャラクター・ロゴマーク利用実績 ※31年度は6月末時点	目標	件	240	130	100		
			実績	件	84	69	27		
			達成率	%	35.0	53.1	27.0		
②しまばらん着ぐるみ利用実績 ※31年度は6月末時点		目標	件	50	50	60			
		実績	件	41	41	9			
	達成率	%	82.0	82.0	15.0				
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①ゆるキャラグランプリ上位入賞 (その他)・テーマソングの作成及びイベントでの活用 ・市内お祭りやイベント、SNSでのPR	目標	位	10	10	-			
		実績	位	14	10	-			
	②メディア露出回数(新聞、TV等) (その他)・広報紙にしまばらん4コマ漫画掲載 ・デザインナンバープレートの作成	目標	回	36	40	50			
		実績	回	28	57	70			
	事業費等の推移	年度		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	2 年度
		区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画
① 直接事業費(千円)		9,813	7,726	6,894	5,324	6,402	6,000		
財源内訳		国 県 支 出 金							
		地 方 債							
		そ の 他	9,813	7,726	6,894	5,324	6,402	6000	
		一 般 財 源	0	0	0	0	0	0	
②従事職員給与費 b1×b2		2,901	2,919	2,943	2,989	2,937	2,937		
従事職員数(人) b1		0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39		
職員平均人件費 b2		7,438	7,484	7,546	7,663	7,530	7,530		
事業費合計 ① + ②		12,714	10,645	9,837	8,313	9,339	8,937		

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている キャラクター申請や着ぐるみの貸し出し内容を見ても、市内外のイベント、各種グッズの他メディアでや広報物でも幅広く活用されており、需要は衰えていない。	判定 A
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 市が実施するのが適切であると思われる。	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 概ね適切である。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか （成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成）	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 市広報やSNSでも周知を行っており、イベントにも積極的に参加している。	A
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 周知方法や、オリジナルグッズ販売方法の改善等検討の余地はある。	B
	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか （活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成）	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 全国ご当地キャラのランキングでも10位を獲得し、九州内では1、2位を争うほどのキャラクターとして知名度も向上している。	A
効率性	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 概ね適切な費用及び事務量である。	B
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 部署間での連携等に一部改善の余地がある。	B
	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 概ね適切である。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			B
判定採点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.60

◎ 総合自己評価（所管部署）	
評価結果	◎ A 継続実施（特段の見直しは行わない） ○ B1 事業規模の拡充 ○ B2 事業規模の縮小 ○ B3 事業内容の改善・見直し ○ B4 その他の見直し ○ C 休止（隔年実施などへの変更） ○ D 廃止（終期の設定等を含む）
判断理由	キャラクター申請や着ぐるみの貸し出し内容を見ても、イベントや各種グッズの他メディアや広報物でも幅広く活用されている。 さらに、ゆるキャラグランプリ2018では当初からの目標としていた全国ご当地キャラクターランキングで10位を獲得し、全国的にも知名度は向上している。九州でも1、2位を争うキャラクターとして、市内外問わず多くの活用が期待され、キャラクターの需要については今後も高まっていくと考えられるため、引き続き実施する。 しかし、社会動向の変化やニーズに応じて、事業内容の改善・見直しはその都度行っていく必要がある。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	（実施上の課題等） ・周知方法の改善や要綱の見直し等を検討。 ・市内企業のキャラクターグッズ制作を後押しする。 ・県外でのグッズ販売場所の新規開拓。
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載してください。	

【2次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	これまでの取り組みにより島原市ふるさと創生島原守護神キャラクター「しまばらん」の知名度は向上している。引き続き、積極的な情報発信（宣伝）に努めるとともに、社会動向の変化やニーズに応じた事業内容の見直しを検討し、地域の活性化に繋がる取り組みに努めてほしい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① ☒ 事業費削減（事業の見直し）	③ ☐ 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② ☐ 民間委託等によるコストの削減	④ ☐ 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）	-648（千円）